

## <笑えますか？ ユダヤのジョーク>

【安息日は禁煙】あるイエシバー(ユダヤ教の神学校)で、3人の学生が、安息日にたばこを吸って、ラビに見つかってしまいました。ラビはみっちり学生を叱ってたしなめました。謝る学生たちの言い訳はいろいろ、「ラビ、すみません、安息日の禁煙規定は知りませんでした」。他の学生「ラビ、すみません。今日が安息日だって忘れてました」。他の学生「ラビ、まことに申し訳ないのですが、安息日に裁くのはやめて頂けないでしょうか」。他の学生、「ラビ、隠れていたつもりだったのです。許して下さい」

【神の支配】シモンは敬虔なユダヤ教徒で、律法においても欠けるところなく、欠かさず祈りコーシェル(ユダヤ教の食事に関する規定)も全て守り、シナゴーク(会堂)にも通った。彼は健康に恵まれ、長生きをし百十歳になった。目も耳も衰えなかった。ところがこの年の誕生日を境に、祈りのために会堂に行くことをきっぱりやめてしまった。心配したラビは、シモンを訪ね「元気かな？ めっきり会堂に来なくなったじゃないか。見るところ、いたって健康で、今も食事をしているじゃないか？」。シモンは答えていった「おー、ラビ！ これには理由があってな！ 神様は、ワシのことを忘れてるように思うのじゃ。だからな、主なる神に思い出させるようなことはしたくないのじゃ」。

【道具を奪う】ある高貴な、高齢の二人の婦人が、公園のベンチに座っておしゃべりをしていました。それぞれの旦那の話に花が咲いていたというわけです。「奥様、宅の主人には癖があって、あの下品極まる癖をやめさせたいのです」、「奥様、どうなさいました？」、「主人は、爪をかむ癖があるのですよ。これをやめさせたいのです。もう恥ずかしくて！」、「そんなの簡単よ！ 私のやったようにすればいいのよ」、「どうしますの？」、「そんなの簡単ですわ、しばらく入れ歯を隠しておけばいいのよ」。

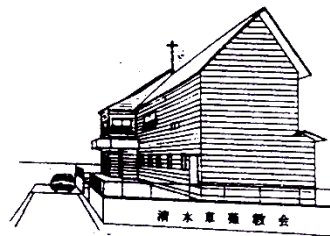
【宗教対立】カリフ(イスラム圏の首長)はユダヤが大嫌いでした。そこで以下のような布告を国内にしました。「ユダヤ人が国境にやってきた場合、問いただし、全てのことを明らかにさせなさい。そこに偽りがあったら銃殺に処しなさい。またいささかなりとも偽りのない時には、これを縛り首にせよ」というもので現在ではありえない様なものでした。ある時、この王国の入り口に一人のユダヤ人がやってきて、法にのっとって、詰問を受けた。このユダヤ人の返答は「私は今日、銃殺されるでしょう」というものでした。混乱した警備員は、この問題に対する判断をカリフのところまで持ち込みました。混乱したカリフは、このユダヤ人を解放することになりました。もし銃殺すれば、もし縛り首にすれば・・・、自らの法に、矛盾するというわけです。

【夫婦の喧嘩】アダムはある時、仕事で遅くなった。エバは、夜おそくに帰って来たアダムを問いただした。「いま何時だと思ってるの！ どこをほっついてたの？」。アダムは答えました。「なるほど、分かった分かった、浮気を疑っているんだろう、この世に女性というものは、あなたしかいないのだから」。「それはあやしいわ。上着をとってごらんなさい」。アダムは言った「この通り、ろっ骨の数を数えてみるがよかろう。あっちこっちに、骨をおいてくることはしていない」。

『ユダヤ・ジョーク』より

# 週報

2011年 3月 20日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042